

拠点校方式を活かした若手教員研修

～ICT を活用した初任者研修の充実と、ICT 活用指導力の育成～

1 はじめに

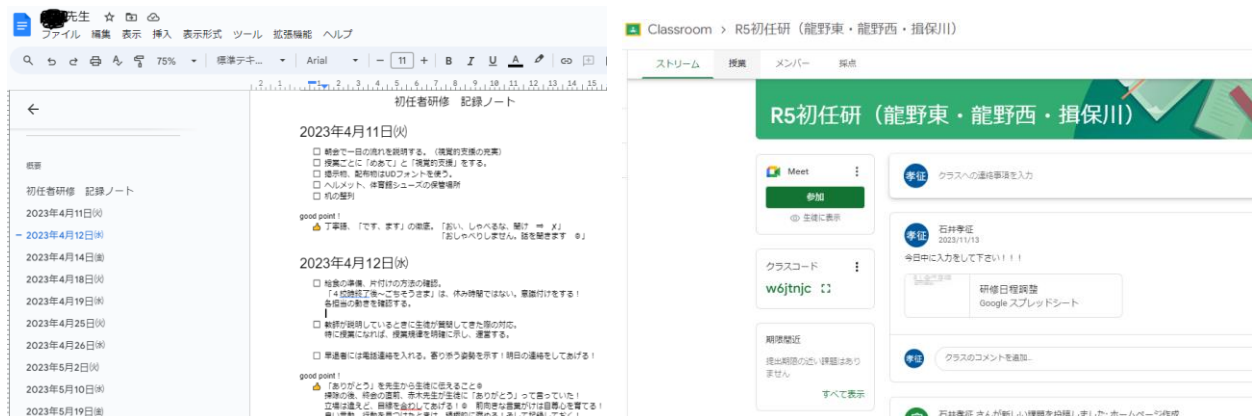
本校は西播地区において最大規模の中学校であり、職員数が多い一方で、約4割が教職経験年数10年以下の教員となっており、人材育成が非常に重要な課題となっている。また、今年度はたつの市内の中学校に4名の新任教諭が着任し、本校を拠点校として拠点校方式で初任者研修を行うことになった。

初任者研修では、新任教員に対して、実践的指導力と使命感を養わせるとともに、幅広い知見を習得させることが求められるが、GIGAスクール構想によるICT環境の整備により、たつの市においても例外なく教育DXが進められ、誰一人取り残すことのないICT活用能力の育成も急務となっている。

そこで、ICTを活用し、初任者を筆頭に若手教員が一体となって幅広くスキルアップを図る場を作り、組織的かつ計画的な若手教員研修モデルの確立をめざすべく、本研究を設定した。

2 研究の経過

ICTを利用した経過記録（指導記録）などの情報共有



これまで、指導の経過を日誌やノートを利用して記録することが多く、記録した指導内容をスムーズに共有することが難しかった。そこで、指導対象の教員に個々のgoogleドキュメントを作成し、クラウドを利用してよりスムーズに指導記録を共有できるようにした。また、若手教員に対して、様々な立場から幅広い視点で指導を行い、支援を厚くするために、管理職の先生や教科指導教員とも同じドキュメントファイルを共有した。若手教員自身も指導記録をいつでも確認することができ、1年間の成長を実感できたり、自らを振り返ることができたりと、効率的で効果的な指導体制の基礎となった。初任者だけでなく、臨時講師として初めて勤務する先生や、教職経験10年以下の先生などを「若手教員」と称して共に学び合ってきた。

また、初任者研修に関する情報や、若手教員にとって学びとなる情報などを、クラスルームを利用して共有することで、研修や校務のデジタル化による更なる教育DXを図った。

3 研究の内容

(1) ICT (Google ミート) を利用した指導力向上研修の実施



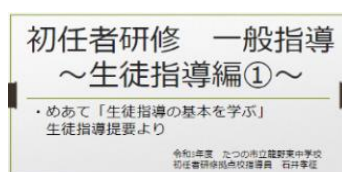
初任者研修に合わせて、若手教員も一緒に一般研修に参加してもらい、指導力の向上に努めた。研修テーマは、教員としての基本的な資質の向上を目的として設定し、年間計画を作成した。また、研修では Google ミートを利用して市内の初任者同士が繋がり合いながら実施することで、意見交流やグループワークを実施することができた。

以下、各回の要約と、研修資料のリンクを掲載する。

(※QR コードはたつの市の google アカウントでのみ閲覧可能)

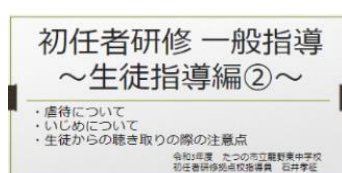
① 「生徒指導編①」～生徒指導の基本～

現代の教員に求められる生徒指導の基本的な姿勢を身に付けるべく、生徒指導の基本書である生徒指導提要を読み解きながら研修を行った。生徒指導とは問題行動への対応のみではなく、発達指示的な視点から指導を行うことなど、プロアクティブな取り組みについて学ぶ機会となった。



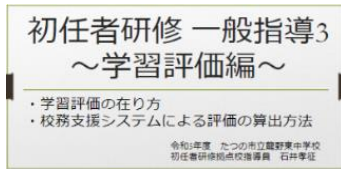
② 「生徒指導編②」～いじめ、虐待について～

テーマをいじめと虐待に設定し、根拠法であるいじめ防止対策推進法や虐待防止法などを紐解きながら、具体的な対応方法や予防対策について研修を行った。校内で組織的に対応することはもちろん、外部の関係機関の存在や役割分担について確認し、日頃から情報交換を行うなど、連携を深めることの重要性を確認した。



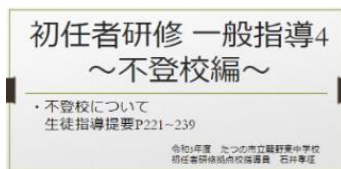
③ 「学習評価編」～学習評価の在り方、校務支援システムを利用した算出～

学習評価を、ただ慣例的に成績を付けるということに終わらず、教師自らが指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようなものとするべく、研修をおこなった。また、校務支援システムを利用した学習評価の算出ができるように、設定方法や操作方法の指導も行った。



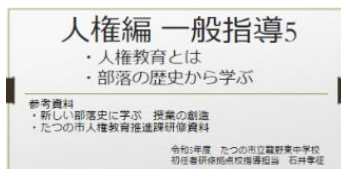
④ 「不登校対策編」～生徒指導提要から考える～

全国平均で5%を超える生徒が不登校となっており、本地区でも喫緊の課題となっている。不登校に対して、SC,SSW などをはじめ校内で組織的にアセスメントを行い、多元的な視点でアプローチすることの大切さや、医療や地域の民生委員など、校外ネットワークの重要性についても学んだ。研修を通して、様々な角度からの不登校対策や向き合い方について、考えを深めることができた。



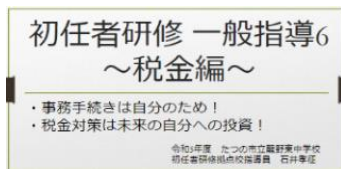
⑤ 「人権教育編」～人権の歴史から学ぶ～

たつの市では部落差別の解消の推進に関する条例を制定するなど、様々な差別の解消に向けて積極的に取り組まれている。市内の中学校でも全教育活動を通して、人権課題を見抜く力やそれを解決するための実践力、行動力などを育てていく必要がある。まずは教員が正しい知識を身に付け、自信をもって生徒の指導に当たれるよう、研修を行った。



⑥ 「税金編」～事務手続きの大切さ～

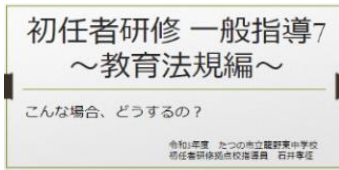
ワークライフバランスの一環として、ふるさと納税や iDeCo などの節税対策について研修を行った。また、源泉徴収の仕組みや、年末調整時の控除についても研修を行い、学校での事務手続きの大切さについても共有した。



⑦ 「教育法規編」～失敗の歴史～

教育法規について日々の校務の中で触れる機会が少ないが、今後の教育の方針や理念をはじめ、教職公務員のあるべき姿が示してあるなど、法規を知ることが教職員のマインドセットにもなり、非常に重要である。そこで、教育現場での具体的な事例を考えながら、法規の理解

に努める研修を行った。



(2) 教育 DX の推進～既存システムの利用と自作教材の開発～

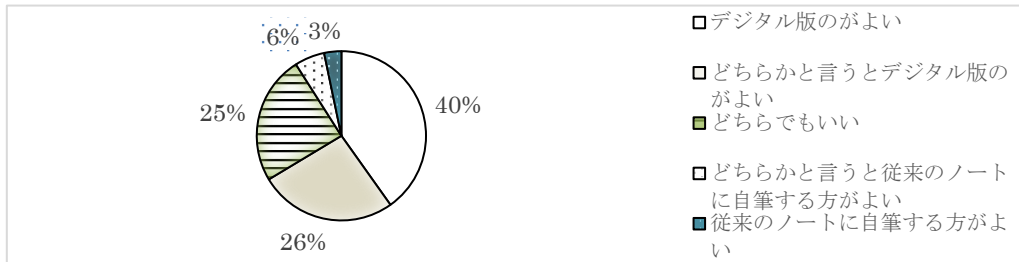
1年間の研修を通して、若手教員と共同で連絡帳のデジタル化を試みた。生徒がスプレッドシートにその日の記録を入力し、クラスルームを利用して提出させることで、生徒の提出し易さが向上したり、教師側も管理することが容易になったりと、生徒とより密に情報交換ができ、生徒理解を深めることができた。従来のノート形式よりも生徒の提出率も非常に高くなった。56%の生徒が、来年度以降もデジタル化の継続を望んでおり、生徒からも非常に好評であった。

また、睡眠時間の記録や振り返りを入力させることで、「眠育」指導が容易に行えるようになり、生徒の健康の保持増進にも大きく貢献できた。ICTを活用することで、拡張性を活かして様々な取り組みへと繋げることができ、まさに教育 DX となった。

クラスルームによる「毎日の記録」の管理

日付	今日の記録	今日の記録	先生より	睡眠時間	
12月8日(土)		- 桜祭準備のルーラルがあるので、頑張ってます！	みんなの前で喋るの？おちついてゆっくりな！！		
12月9日(土)		初めてまんまんを食いましたw いっせ、びびまんがまんを食べて、まんまんを遊ばせようかな。楽しかったです。	のっちゃん食べてもらいましたwww ありがとう	8時間00分	
12月10日(日)	0時00分	8時00分	桜祭準備でまよいました。すぐ寝落ちしましたが寝るの準備は出来たのでよかったです。先生のアドバイスや笑い声がマイクにかしこ聞こえたので嬉しかったです。	あれ？コメントなしですか？ 大丈夫ですか！ いっせみたいに、おもしろいこと書いてみてくださいwww	7時間00分
12月11日(月)	0時00分	7時00分		7時間00分	
12月12日(火)	0時00分	7時00分		7時間00分	
12月13日(水)	23時00分	6時00分		7時間00分	
12月14日(木)	0時00分	7時00分		7時間00分	

アンケート結果 (2024. 1. 19 実施 対象：龍野東中学校 1年生 5クラス 回答数 126名)



4 研究のまとめ

日々の業務をこなすだけで精一杯になりがちだが、教職公務員特例法にもあるように、教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

Society 5.0 といわれる、これまでよりも一層変化の激しい社会を生き抜く目の前の生徒に対して、真に有意義な教育を提供する為には、ICT 機器のような新しいツールを積極的に取り入れたり、慣例的に行われている教育活動も、PDCA サイクルに則り大胆かつ抜本的に見直したりと、まずは教員自身が変化に戸惑うことなく教育活動に取り組まなければならない。そのためには、日頃から教員自らがアップデートに努めることが必要不可欠である。

初任者研修や中堅教諭等資質向上研修などの法定研修だけではなく、学校や地域単位で、組織的かつ計画的に人材育成に努める必要性を改めて実感する機会となった。今後も「チーム学校」「チーム揖龍」として、引き続き指導力向上をめざす。